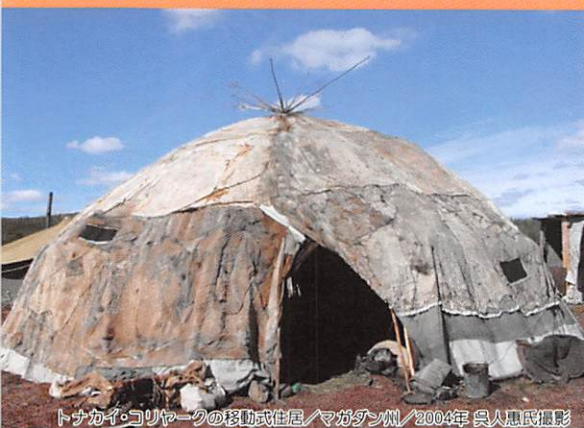


コリヤーク

ツンドラの開拓者たち

KORYAKS — *Pioneers of the Tundra*



トナカイ・コリヤークの移動式住居／マガダン州／2004年 呉人恵氏撮影



トナカイ車で狩りに出かける男性／マガダン州／2004年 松下明子氏撮影
(共同通信社提供)



コリヤークスキー火山／カムチャツカ州
／2000年 池田貴夫氏撮影



アシランの捕獲／コリヤーク自治管区／1997年 大島稔氏撮影

北方民族博物館所蔵・国内最大のコレクションから
カムチャツカ半島、マガダン州のコリヤーク民族資料を一挙公開

2006年7月15日(土)～10月9日(月)

開館時間 9:00～17:00(10月は9:30～16:30)

休館日 10/2(月)

観覧料 一般450(360)円

高校生・大学生150(120)円

小学生・中学生 無料

※()内は10名以上の団体料金

協力 大島 稔 氏・呉人 恵 氏・永山ゆかり 氏・池田貴夫 氏・共同通信社



ベリー類の採集／コリヤーク自治管区
／2002年 大島稔氏撮影



コリヤーク ツンドラの開拓者たち

KORYAKS — *Pioneers of the Tundra*

北太平洋を取り囲む地域の先住民文化を紹介する4回シリーズの第1回目として、コリヤークの文化を取り上げます。

コリヤークは、ロシア、カムチャツカ半島とその周辺地域に居住してきた先住民です。おもな生業の違いから、大きく二つのグループに分けられます。海岸地域でも主に海獣狩猟や漁撈をおこなってきた海岸コリヤークと、内陸でトナカイ遊牧をおこなってきたトナカイ・コリヤークです。

このうち、トナカイ飼育は他民族から伝えられたと考えられていますが、コリヤークはこれを発展させ、トナカイの肉や毛皮を徹底的に利用する遊牧文化を作り上げました。この遊牧文化によって、コリヤークは内陸のツンドラをも生活の舞台とするようになったのです。

本特別展では、トナカイ遊牧を中心に、コリヤークの伝統文化について紹介します。



犬糧での移動／コリヤーク自治管区／1998年 永山ゆかり氏撮影



サケを捌く女性／コリヤーク自治管区／1997年 大島稔氏撮影

展示資料：移動式住居、トナカイ橇、トナカイ毛皮製帽子、コート、ブーツ、ビーズ細工など約130点



トナカイ毛皮製の衣類を身にまとう男性／マガダン州
／2004年 松下明子氏撮影(共同通信社提供)



橇／北海道立北方民族博物館所蔵



トナカイ毛皮製帽子
／北海道立北方民族博物館所蔵

関連事業

●7/15(土)

講演会「コリヤークのことばと文化」10:00-11:30

講師 呉人 恵氏(富山大学)

講習会「コリヤークのビーズ細工」13:30-16:00 [定員20名]

講師 A. ニコラエヴナ氏(コリヤーク文化伝承者)

参加料 300円

●7/16(日)

講座「北太平洋地域の踊りと音」10:00-12:00

講師 大島 稔氏(小樽商科大学)

甲地 利恵氏(道立アイヌ民族文化研究センター)

●7/15(土) 展示解説会(特別展観覧料が必要です。)

●8/19(土) 講座「もう一つのトナカイ遊牧」

●9/23(土・祝) 講座「カムチャツカのサケと先住民文化」

※ お申し込み・お問い合わせ先：北海道立北方民族博物館 Tel. 0152-45-3888, Fax. 0152-45-3889

